

未来に伝えたい

白い森おぐにの

文化遺産

その20 飯豊講

真っ白な雪を豊かにたたえ、そびえ立つ飯豊連峰。その雄大な山々は、前回お伝えしたように、古くは修験者たちが集う山岳信仰の場でした。しかし、時代が下るにつれ、その姿は薄れ、代わって、豊穡をもたらす作神（さくがみ）として飯豊山を崇拜する民間信仰が、置賜地方や会津地方など山麓一円に広まりました。



▲飯豊山神社

とくに江戸時代後期頃から昭和初期頃にかけては、それらの村々で飯豊（山）講という講中（信仰に基づく地縁的な集まり）がつくられ、飯豊山山頂（標高2105m）近くにある飯豊山神社（奥宮）へ登拝する「飯豊（山）参り」が盛んにおこなわれました。男性は15歳で飯豊参りをして初めて一人前と認められたように、それは成人儀礼の側面も備えていたようです。

置賜地方では、岩倉（現、飯豊町）を通過して大日杉から入山し、地蔵岳、種蒔山を経て飯豊山へ至るのが登拝の一般的なルートでした。しかし、本町南部の小玉川では温身平から大崑（だいぐら）尾根を伝い、飯豊山に直接登っていたようです。また、滝集落から鍋越山に登り、地蔵岳の手前で大日杉からの登

拝路と合流するという山道もひらかれていました。

滝集落の歴史文化について

書かれた『ある山里の歴史

滝部落集団離村の記』（福盛

吉之助著、1991年）によ

ると、滝（上滝）にも飯豊講

があり、毎年、代表登拝者（代参者）を決めて日帰りで登拝していたようです。時期は神官が山頂に詰めていた8月でした。

代参者は、登拝前の1週間は精進しなければならず、肉はもちろん、魚類や鶏卵などを断ち、朝夕に水垢離（ごり）をとってひたすら神仏を拝みます。当日は朝2時に家を出て、川の水で身を清め、前回紹介したお不動様を拜んでから出発したそうです。道中でも水垢離をとり、日の出前には頂上に着きました。

やがて夜明けとともに眼下に広がる雄大な山なみ。「あの清々しさは登拝して御来光に会った者だけが浸ることのできる清浄無垢な境地と言えるでしょう」と、同書で述べられています。

『小国の信仰』（小国町誌編集委員会編、1994年）による



▲飯豊山塔（黒沢）

と、長者原（小玉川）ではこのような飯豊講の他に、毎年1月8日、各戸の代表が回り番の宿に集まって餅を供え、飯豊山に感謝を捧げる「飯豊のお供養」という行事もおこなわれていました。また、叶水、市野々方面でも、1月17日に宿へ集まり、「オフクデン（お福田）」という大きな餅を大小二つ作り、お供えていました。

このように本町各地でみられた飯豊山信仰。人びとは山の大きな力を畏怖し、身を清め豊作とともに祈りました。今も滝集落跡や黒沢集落に残る飯豊山塔（飯豊講にまつわる石碑）は、そのような山とともに生きてきた先人たちの信仰を後世へ伝える語り部なのです。

（教育委員会生涯学習室）

令和4年 小国町議会 第10回臨時会・第11回定例会

令和4年第10回臨時会が11月25日に、第11回定例会が12月1日から7日まで開催されました。それぞれ、令和4年度一般会計補正予算等が審議され、原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

【第10回臨時会】

一般会計に

407万4千円を追加

国において令和4年人事院勧告に基づく国家公務員改定給与法が可決したことを受け、一般職の給料月額及び勤勉手当の引き上げ、さらに特別職の期末手当の引き上げを行う経費等を追加し、補正後の予算総額は、80億5408万6千円となります。各特別会計に同様の経費を追加したほか、関係する条例の改正を行いました。

【第11回定例会】

■補正予算

一般会計に

2億3265万1千円を追加

コロナ禍の影響に伴い、町立

病院と老人保健施設の収益が減少したこと等に対する負担金と、原油価格・物価高騰による事業者への緊急経営支援給付金を追加したほか、令和5年4月に予定されている山形県議会議員選挙、小国町議会議員選挙の準備等に要する経費などを追加し、82億8673万7千円となりました。

ふるさと納税に係る経費の追加

寄附件数、寄附額の増加が見込まれますので、返礼品や配送料および掲載サイトに係る手数料を追加しました。

子育て支援センター移転

おぐに保育園内で運営していた子育て支援センターを白い森ショッピングセンターアスモ内に移転設置することとし、設計業務に要する経費を追加しました。

全国大会出場選手へ激励金交付

小国中学校バレー部に所属する2人が、JOCジュニアオリンピ

ックカップバレー県選抜メンバーに選出されたほか、本町出身の米沢中央高校バレー部の4人が春の全日本バレーボール高校選手権大会に出場することとなりましたので、激励金を交付することとし、所要額を追加しました。

■小国町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員法が令和3年6月11日に改正され、令和5年4月1日に施行されることから、職員の定年の引き上げについて、令和5年4月から2年に1歳ずつ段階的に引き上げ、令和13年4月までに5歳引き上げるなど所要の改正を行いました。

■小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症により主体生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った世帯等に対しての、国民健康保険税の免除等の対象期間が1年間延長されたことに伴う、所要の改正を行いました。

山口満さんが山形県
ベストアグリ賞を受賞

山口満さん（大石沢）が令和4年度山形県ベストアグリ賞を受賞しました。

山口さんは、中山間地域における低農薬米や無農薬雑穀など環境負荷低減に配慮した農産物の生産や、妻が代表を務める企業組合と連携し、自家栽培の低農薬米等の原料供給を通して、高付加価値化を目指した6次産業化の取り組みを展開して地域の農業ビジネスの模範となっていることなどが評価されました。

